

子育てに関わる地域・学校で行う教育活動

子育てサロン（保護者・地域・教職員との連携）

1. 目的と経緯

本事業は、下吉田第二小学校の保護者および教職員を対象に、子育てのヒントを提供し、悩みや情報を共有する場として企画した。家庭のために奮闘する保護者を支援し、片付けや学習意欲、心身の健康といった多角的なテーマを通じて、子どもたちの「できる力」や「生きる力」を育むことを目的としている。令和7年度に3回開催している。

2. 内容

各回、地域在住の専門性の高い外部講師を招いて実施した。

回数	テーマ	主な内容	講師
第1回	片付けを通じた「できる力」	子どものペースを尊重し、自律性を引き出す関わり方を学習。	上田五月氏 （整理収納アドバイザー）
第2回	やる気スイッチと夏休み	心理士の視点から、子どもの成長に大切な関わり方や意欲向上を解説。	谷由紀子氏 （スクールカウンセラー）
第3回	自律神経と子供の疲れ	朝起きられない等の症状に対し、体の仕組みから整える方法を検討。	小幡真理子氏 （ららら整体院 院長）



工夫点： 親子での参加を可能とし、参加のハードルを下げている。

3. 成果と課題

成果

- ・多様な専門知の提供： 整理収納、心理学、整体といった異なる分野の専門家から、具体的かつ即時的なアドバイスを得る機会となった。
- ・継続的な開催：「子育ての悩み」といった保護者のニーズに合致した継続的なコミュニティ形成がなされている。
- ・利便性の確保： 校内での開催および電話・フォームによる簡便な申込体制を構築した。

課題：

- ・定員と普及： 第1回では先着20名という制限があり、より多くの保護者が参加できる枠組みや、不参加者への情報共有のあり方が今後の検討材料となった。
- ・対象の拡大： 教職員も対象に含まれているが、多忙な教職員がいかにサロンの知見を教育現場に還元・共有できるかの仕組みづくりが課題となる。